

#### 4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

##### [1] 市街地の整備改善の必要性

###### (1) 現状分析

中心市街地は、旧来からの市の中心である駅南地区の大半の区域が、戦災復興土地区画整理事業によって基本的な都市基盤の整備がされた。都市計画道路の未整備区間は当該施行区域を除いた部分に限られている。一方、駅北地区は都市基盤の整備が遅れていたが、紡績工場撤退後の跡地における大規模商業施設等の立地にあわせ、都市施設等の整備が進められた。

駅南側では昭和60年の「地方都市中心市街地活性化計画」に基づいて、駅南広場や水門川プロムナードなど機能向上や修景整備を進めたほか、平成10年の旧法による中心市街地活性化基本計画に基づいた水門川環境整備など、景観整備に力点をおいた整備を進めてきた。また、平成21年の中心市街地活性化基本計画においては、大垣駅で分断されている南北の動線を結ぶため南北自由通路や駅北口広場の整備など、駅周辺の整備を進めた。また、平成27年の中心市街地活性化基本計画においては、大垣駅南街区の再開発を行い、住宅、商業施設、子育て支援施設等からなる複合施設の整備や、老朽化した市役所庁舎の建て替えを行ったほか、令和3年の中心市街地活性化基本計画においては、丸の内公園を整備した。

今後、ソフト事業については、公共空間における、テラス席の設置や物品販売等を支援するとともに、大垣駅通りや公園、広場、河川空間等を利用したイベントを開催する「まちなかテラス推進事業」を実施し、中心市街地への集客およびにぎわい創出に努める。

ハード事業については、まず「大垣駅南前地区市街地再開発事業」において、大垣駅南口から約200mに位置している低未利用区域を高度利用し、まちなかの再生や都心居住の促進を図るとともに、安全で活気ある基盤整備を行う。

次に、「大垣公園等再整備事業」において、「100年先も愛され続ける大垣のシンボルパーク」の実現を目指し、多くの市民に楽しく利用され、まちの活力と魅力があふれる場所を目指す。

その他、「船町公園整備事業」、「大垣駅南口公衆トイレ整備事業」、「四季の路の再生事業」、「まちなか道路再生事業」において、トイレや歩行空間等を整備するほか、「景観形成建築物等修景モデル支援事業」や「四季の路サクラ再生整備事業」により、良好なまちなみ景観の形成を図るとともに、「まちなか案内サイン整備事業」において「湧水」をはじめ、「文化施設」、「景観遺産」を分かりやすく案内することで、来街者が快適に歩ける環境を整備し回遊性を持たせて賑わいに繋げる。

## (2) 市街地の整備改善の必要性

これらの現状を踏まえ、本市では、魅力ある市街地形成を目指し「市街地の整備改善」を図るため、再開発事業や憩いとうるおいの場を提供する公園整備など、次の事業を基本計画に位置付ける。

- ・まちなかテラス推進事業
- ・大垣公園等再整備事業
- ・北公園再整備事業
- ・四季の路の再生事業
- ・船町公園整備事業
- ・四季の広場公園整備事業
- ・大垣駅南前地区市街地再開発事業
- ・大垣駅南口公衆トイレ整備事業
- ・まちなか道路再生事業
- ・景観形成建築物等修景モデル支援事業
- ・四季の路サクラ再生整備事業
- ・丸の内駐車場再整備事業
- ・まちなか案内サイン整備事業

## (3) フォローアップ

毎年度、基本計画に位置付けた事業の進捗状況の調査を行い、着実な推進を図る。また、中心市街地活性化状況や目標指標への効果を把握し、必要に応じて事業の推進等の改善措置を講じるものとする。

## [2] 具体的事業の内容

### (1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

【事業番号】 4-1      【事業名】 まちなかテラス推進事業

【事業実施時期】	令和2年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	公共空間における、テラス席の設置や物品販売等を支援するとともに、大垣駅通りや公園、広場、河川空間等を利用したイベントを開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 空き店舗の解消		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 商店街振興組合連合会内空き店舗数		
【活性化に資する理由】	大垣駅通り等において、事業者のテラス席設置や物品販売等を支援するとともに、公園、広場、河川空間等を利用したイベントを開催することで、中心市街地のにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和13年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業  
該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

【事業番号】 4-2      【事業名】 大垣公園等再整備事業

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	基本計画策定、公園整備（測量・調査、景観保全検討調査等） 整備面積：約3.1ha		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなかの居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に 資する理由】	公園整備を実施し、中心市街地の魅力の向上、定住人口の増加を図 ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	遺跡発掘調査事業		
【支援措置実施時期】	令和5年度～令和13年度	【支援主体】	文部科学省
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-3      【事業名】 大垣公園等再整備事業 [再掲]

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	基本計画策定、公園整備（測量・調査、景観保全検討調査等） 整備面積：約3.1ha		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に 資する理由】	公園整備を実施し、中心市街地の魅力の向上、定住人口の増加を図 ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	都市構造再編集中支援事業		
【支援措置実施時期】	令和7年度～令和11年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-4 【事業名】 大垣公園等再整備事業 [再掲]

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	基本計画策定、公園整備（測量・調査、景観保全検討調査等） 整備面積：約3.1ha		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に資する理由】	公園整備を実施し、中心市街地の魅力の向上、定住人口の増加を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	防災・安全交付金事業（都市公園・緑地等事業）		
【支援措置実施時期】	令和8年度～令和11年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-5 【事業名】 北公園再整備事業

【事業実施時期】	令和7年度～令和11年度		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	公園出入口及び駐車場の整備を行う。 整備面積：約4.92ha		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に資する理由】	公園整備を実施し、中心市街地の魅力の向上、定住人口の増加を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	社会資本整備総合交付金事業（都市公園・緑地等事業）		
【支援措置実施時期】	令和7年度～令和11年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-6 【事業名】 四季の路の再生事業

【事業実施時期】	令和8年度～令和10年度		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	樹木の大径化による不陸や、植樹帯による狭小部分の再整備。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	四季の路の再整備を計画的に行うことにより回遊性を高め、利用者の利便向上を図る。また、郭町4号線（大垣市役所南側）の歩道を整備することにより市庁舎や丸の内公園、大垣公園を含めた東西の回遊性が高まり、より一層のにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	都市構造再編集中支援事業		
【支援措置実施時期】	令和8年度～令和10年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-7 【事業名】 船町公園整備事業

【事業実施時期】	令和8年度～令和9年度		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	四季の路沿いにある奥の細道むすびの地周辺の最寄りトイレ等の整備。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に資する理由】	四季の路沿いにある奥の細道むすびの地周辺の最寄りトイレ等の整備を行うことにより、来訪者の安全性向上と歩きやすい街並みづくりを図り、市庁舎や丸の内公園、大垣公園を含めた東西の回遊性が高まり、より一層のにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	都市構造再編集中支援事業		
【支援措置実施時期】	令和8年度～令和9年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-8

【事業名】 四季の広場公園整備事業

【事業実施時期】	令和11年度		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	四季折々にちなんだ音響や照明の整備。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に 資する理由】	四季の路沿いにある四季の広場公園の音響設備や照明設備の整備を行うことにより、多くの来訪者が楽しむことができる四季折々にちなんだ音響やライトアップを演出することでより一層にぎわいを創出する。		
【支援措置名】	都市構造再編集集中支援事業		
【支援措置実施時期】	令和11年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-9

【事業名】 大垣駅南前地区市街地再開発事業

【事業実施時期】	令和6年度～		
【実施主体】	大垣駅南前地区市街地再開発準備組合		
【事業内容】	<p>駅前の低未利用区域を高度利用し、まちなかの再生や都心居住の促進を図る</p> <p>地区面積：1.2ha</p> <p>・進捗状況</p> <p>令和4年度 準備組合設立</p> <p>令和6年度 都市計画決定</p> <p>令和7年度 組合設立</p>		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に資する理由】	大垣駅南前地区は、大垣駅南口から約200mに位置しているが、百貨店の空きビルや共同ビル、青空駐車場等があり、駅前でありながら低未利用な区域である。まちなかの再生や都心居住の促進を図るとともに、安全で活気ある基盤整備を行うことで、魅力ある市街地形成を図る。		
【支援措置名】	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）		
【支援措置実施時期】	令和8年度～令和12年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-10      【事業名】 大垣駅南口公衆トイレ整備事業

【事業実施時期】	令和7年度～令和8年度		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	大垣駅南口の公衆トイレ整備。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	老朽化している大垣駅南口の公衆トイレを整備し、利便性を向上させることでにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	都市構造再編集中支援事業		
【支援措置実施時期】	令和8年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-11      【事業名】 まちなか道路再生事業

【事業実施時期】	令和8年度～令和12年度		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	市道郭清水1号線ほかの道路整備。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出 まちなか居住の推進		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 中心市街地の社会増減数（平均）		
【活性化に資する理由】	中心市街地の道路の歩行空間等を整備し、全ての人が安全・安心して快適に歩ける空間を形成することでにぎわいを創出する。		
【支援措置名】	都市構造再編集中支援事業		
【支援措置実施時期】	令和8年度～令和11年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

(4) 国の支援がないその他の事業

【事業番号】 4-12      【事業名】 景観形成建築物等修景モデル支援事業

【事業実施時期】	平成19年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	美濃路沿線地区内において景観形成基準に適合する行為を行う者に対して助成を行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	民間による良好なまちなみ景観の形成を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-13      【事業名】 四季の路サクラ再生整備事業

【事業実施時期】	令和6年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	四季の路等において桜並木の景観を維持したまま世代交代していく取り組みを計画的に行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	市内外から多くの花見客が訪れる桜の名所の景観を守り、中心市街地の魅力の向上、良好なまちなみ景観の形成を図ることで、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-14      【事業名】 丸の内駐車場再整備事業

【事業実施時期】	令和8年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	老朽化が進んでいる丸の内駐車場の再整備を実施。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	周辺土地の利用状況の変化や駐車需給バランスを考慮し、老朽化した丸の内駐車場の再整備を実施することで、中心市街地の魅力の向上を図り、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業番号】 4-15      【事業名】 まちなか案内サイン整備事業

【事業実施時期】	令和8年度～		
【実施主体】	大垣市		
【事業内容】	中心市街地に3つのテーマ別ルート（ライン）を設定し、必要な案内サイン等の整備を行うもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	にぎわいの創出		
【目標指標】	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量		
【活性化に資する理由】	中心市街地に新たに整備された湧水スポットと既存の湧水スポットを繋ぎ、効率的に「湧水めぐり」が可能となるように誘導する。また、大垣を訪れる多くの方が迷うことなく「湧水」をはじめ、「文化施設」、「景観遺産」などを巡ってもらえる、ウォークアブルなまちを目指すことで、中心市街地の魅力の向上を図り、にぎわいを創出する。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			